

# 2023年度（後学期出発）海外協定校長期派遣学生 募集要項

世田谷：グローバル連携センター  
厚木：学生教務課  
オホーツク：学生教務課

## はじめに

本プログラムは、休学せず本学に在籍扱いのまま、海外協定校に半年または1年間留学する制度です。語学力向上を主目的とせず、語学を使って正規授業の履修または専門分野の学習や研究を行う意欲を持つ学生を、学部を問わず募集します。渡航準備金（航空券代）として地域により10～20万円が支給され、留学中の本学の授業料は諸会費を除き全額免除されます。

## プログラム概要

	交換留学（学部・院生対象）			研究留学（院生対象）			
プログラム内容	協定校での正規授業の履修			協定校の研究室での研究活動 *受入れ研究室は自ら探し、受入れの許可を得ること。			
派遣人数	各協定校若干名						
募集・留学時期	出発	留学地域	奨学金希望受付 (注1)	募集受付 (書類審査)	選考会 (面接)	合格発表	留学時期 (目安)
	前学期	韓国・オーストラリア (注2)	7月20日～ 8月5日	7月20日～ 8月5日	8月25日	9月中旬	翌年2,3月～ 半年又は1年
	後学期	その他 (注2)	10月3日～ 10月12日	1月6日～ 1月16日	2月1日	2月中旬	翌年8,9月～ 半年又は1年
<p>(注1) JASSO奨学金受給希望者は、事前受付期間に必ず手続きを行うこと。 留学時期は、半年または1年間（365日を超えることはできない）のいずれかを出発前の応募時に選択すること。留学中の変更は不可。 *学期制度が異なるため、留学先協定校によって学期途中での帰国の可能性もある。 *留学時期の選択にあたっては各学科の必修科目、各種資格課程の履修条件を考慮し、学科の教員とも相談のうえ、決定すること。 *留学時期は、原則、半年の場合は5ヵ月以上、1年の場合は10ヵ月以上であること。</p> <p>(注2) 派遣先大学が所在する国(地域)の治安・感染症等の状況により派遣先大学が受入を中止する場合、また本学が派遣の中止・延期または中断を決定する場合があります。</p>							

	交換留学（学部・院生対象）	研究留学（院生対象）
応募資格	<p>1) 留学時に本学の学部2年生以上（院生含む）であること（特別留学生は除く）。</p> <p>学部4年生は、次年度に東京農業大学大学院に在籍する予定の場合のみ「秋出発」プログラムに出願可とする（春出発への応募はできない）が、次年度在籍しないこととなった場合には、留学候補生となることはできない。</p> <p>*協定校により学部2年及び院生の受入れ不可の場合があるため、該当する学生は募集受付期間の1ヵ月前までにグローバル連携センターに相談すること。</p>	<p>1) 留学時に本学の大学院生であること（特別留学生は除く）。</p> <p>学部4年生は、次年度に東京農業大学大学院に在籍する予定の場合のみ「秋出発」プログラムに出願可とする（春出発への応募はできない）が、次年度在籍しないこととなった場合には、留学候補生となることはできない。</p> <p>*協定校により院生の受入れ不可の場合があるため、該当する学生は募集受付期間の1ヵ月前までにグローバル連携センターに相談すること。</p>
	<p>2) 心身共に健康であること。</p> <p>3) 留学費用を負担できること。</p> <p>4) 保護者および指導教員から許可を得ていること。</p> <p>*留学を希望する者は保証人および指導教員と相談した上で、応募書類を作成し申し込むこと。</p> <p>5) 本学学業成績が原則として通算GPA2.3以上であり、かつ別紙「海外協定校受入条件一覧」の希望留学先GPA要件を満たすこと。</p> <p>6) 別紙「海外協定校受入条件一覧」の基準を満たす語学スコアを提出すること。</p> <p>*非英語圏への留学の場合は、英語スコアが下回る場合、留学希望大学で使用される言語ができること。</p> <p>*語学要件は応募時に書面で証明し、かつ面接時に口頭で証明する。</p>	
単位認定	<p>留学中に修得した単位は他学部/他学科聴講・大学間履修等により、学部生は30単位、大学院生は10単位を超えない範囲で認定を申請可。ただし、認定される単位数は学年・学科により異なる。</p>	単位認定されない
本学費用	<p>留学中の本学の学費は、諸会費を除き全額免除される。</p> <p>渡航準備金（航空券代）（アジア圏：10万円、その他：20万円）が支給される。</p> <p>*留学中に単位を取得しなかった場合は、渡航準備金を返還する必要があることがある（研究留学のケースを除く）。</p> <p>*留学期間中は大学院生奨学生等各種奨学金制度との併用が認められないことがある。</p>	
留学先費用	<p>費用は希望留学先により異なるため「海外協定校受入条件一覧」参照。</p> <p>*留学期間中、現地でのアルバイトは禁止。</p>	
外部奨学金	<p><b>JASSO奨学金</b></p> <p><a href="https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/haken/index.html">https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/haken/index.html</a></p> <p>大学が申請し、採択された場合に受給が可能となる。JASSOが設定する成績基準等を満たす必要がある。JASSO奨学金受給希望者は必ず「奨学金希望受付期間」にグローバル連携センターにて受付を済ませること。なお、新型コロナウイルスの感染状況によって、奨学金の支給条件が変更となる場合もあるので、上記HPを随時確認すること。</p>	
学籍	留学期間中の本学における学籍は「留学」となり、本学在籍年数に含まれる。	
留学時期にかかる留意点	いずれの留学時期を選択した場合においても <b>留学出発前および帰国後に最低半年は本学(学部または大学院)に在籍する</b> 必要がある。	

## 2. 応募書類

- 1) 留学願書（様式1）
- 2) 個人調査書（様式2）
- 3) 本学指導教員（所属学科内助教以上教員）の推薦書（様式3）
- 4) 成績台帳「科目ごとの成績」「GPA」「単位習得状況」（学生ポータルからプリントアウト）
- 5) 健康診断書（証明書発行機からプリントアウト）
- 6) 作文「私の留学計画」（様式4）字数：800字以上1200字以内
- 7) 語学検定スコアのコピー
- 8) GREスコア・GMATスコア等（希望留学先の語学要件に指定されている場合）
- 9) 大学院合格通知（次年度、東京農業大学大学院進学予定者のみ）
- 10) 受入教員からの Acceptance Letter（様式不問。研究留学の場合のみ）
- 11) 海外派遣プログラム誓約書

### 【応募書類提出先】

世田谷キャンパス：グローバル連携センター、厚木・オホーツクキャンパス：学生教務課

## 3. 選考要領

- 1) 留学計画に関する作文
- 2) 本学学業成績
- 3) 語学能力
- 4) 個人面接：面接官複数対学生1名の面接を各キャンパスまたはオンラインにて実施する。

## 4. 留学生の義務

### 1) 留学中の経過報告書（A4サイズ2枚）の提出＊締切厳守

- ①出発1ヵ月後 ②出発3ヵ月後 ③出発半年後 ④出発8ヵ月後（留学時期が半年の場合は不要）

### 2) 帰国後の各種報告書の提出

- ① 留学先協定校大学の成績表（英文）
- ② 留学先協定校大学あるいは学部発行の修了証書**原本**
- ③ 海外留学帰国届(様式⑧)
- ④ 単位認定申請書(様式⑨)
- ⑤ 帰国後アンケート（様式⑩）
- ⑥ 海外協定校長期派遣留学報告書2部（様式⑪日本語、⑪-2英語または現地語）
- ⑦ 「農大大学報」への投稿原稿

### 3) 帰国報告会での報告

次年度留学希望者に対する募集説明会を兼ねた帰国報告会で、帰国報告を行うこと。

## 5. コロナ禍における派遣条件

出発予定日の2ヵ月前の時点において、以下の全ての条件がクリアされていない場合は派遣を取り止めることとなります。

- 1) 派遣国への入国及びトランジットに必要な査証取得が可能となっている。
- 2) 派遣先大学の受入体制が整っている。
- 3) 海外安全レベルは「危険情報」、「感染症危険情報」とともにレベル1以下である。

ただし、上記1)～2)がともにクリアされているものの、3)海外安全レベルのうち、「感染症危険情報」のみがレベル2または3（「危険情報」はレベル1以下）である状況においては学生本人及び保護者のプログラム参加に係る強い希望と同意（誓約書の提出）があり、下記の条件を満たす場合に限り派遣を行うこととします。

- ・本学指定旅行会社での航空券手配及び渡航サポートサービスの利用
- ・危機管理・危機回避サービスへの加入

なお、当該基準は2022年9月時点のものであり、新型コロナウイルス感染症拡大の推移を踏まえ、見直しを図られる場合があります。